

# 親子聖書日課

NO.1684 2021.1/3-9

名前

[日]民が捕囚として連れ去られた時も、「主はそこにおられ」て、エドムの手に陥ることは許しません。主のおられない所はありません。行く手に闇があろうとも、主は約束の地(天国)を用意して下さるので、安心です。もう、一人ではありません。

[月]「主なる神はこう言われる」という言葉が何度も出てきます。主の言葉こそ、全てのことを生じさせる根本原因です。御言葉に聴従しましょう。必ず、御言葉が実現します。御言葉に生きる時、主を深く知り、信仰の醍醐味を経験できます。

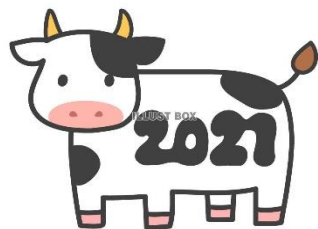
[火]罪を取り除くために滝に打たれ、清めの水を注ぐことはいりません。ただ主を信じ、バプテスマを受けることです。すると、聖霊が注がれ、「石の心」頑なな心が、「肉の心」愛の心に変えられます。新しい心は、努力(Try)でなく、信頼(Trust)です。

[水]「枯れた骨」が生き返るとは考えられませんが、主が「霊を吹き込む」と、生き返るのです。私達も以前は罪に死んだ霊的に枯れた骨でしたが、今は復活の主を信じることによって、生きた骨になりました。「枯れた骨よ、主の言葉を聞け！」

[木]国が分裂することによって、同胞が憎しみ争うという悲しい事態が生じました。二本の木(南・北王国)を一本にできるのは、主ご自身です。両者を和解させるために、主は十字架で死んで下さったのです。主を信じる時、一致は実現します。

[金]サタンに操られたゴク(黙20:8)は、反イスラエルの中心人物で、平和に暮らしていた民に突然攻め込みます。私達も救われたからといって、安心してはいけません。サタンは私達の信仰を奪おうと、必死です。御言葉の剣と祈りの盾が必要です。

[土]主が私達の主であるということは、全てが私達の思い通りになることではありません。主は義しい方ですから、私達が罪を犯す時、裁かれます。しかし、悔い改める時、その罪を赦し、主の霊を注がれます。その時、主を知ることができます。



	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 35:1-15	しかし、そこに誰がおられましたか。	
月	36:1-21	主なる神の言葉をどうすべきですか。	
火	36:22-38	私はお前たちにどんな心を与え、新しい霊を置きますか。	
水	37:1-14	主が何を吹き込むと、私たちは生き返りますか。	
木	37:15-28	それらはあなたの手の中でいくつになりますか	
金	38:1-23	わが民がどのように暮らしている時、ゴクはいきり立ちましたか。	
土	39:1-29	主は二度とわが顔を隠すことなく、何をイスラエルの家に注がれますか	
感想と祈りの課題			